

令和4年度 第7回 吹田市政策調整会議概要

日時:令和5年(2023年)2月7日(火)午後4時5分～午後5時

場所:吹田市役所 高層棟4階 特別会議室 及び オンライン

出席者:(特別会議室に参集)春藤副市長、辰谷副市長、小西総務部長、今峰行政経営部長

(庁内テレビ会議システムにより出席)

大矢根理事、中川税務部長、高田市民部長、服部理事、井田都市魅力部長、岸上理事、
大山福祉部長、前村理事、保木本理事、梅森健康医療部長、柴田保健所長、道澤環境部長、
清水都市計画部長、舩木土木部長、真壁理事、柳瀬下水道部長、笹野消防長、廣田理事、
笹川農業委員会事務局長固定資産評価審査委員会事務局長兼任、山下学校教育部長、
大江教育監、道場地域教育部長、山村水道部長

所管:【行政経営部(情報政策室)】岡松理事、相川室長、武井参事、濱田主幹、松井主幹、

渡邊係員、小栗係員

【会計室】杉会計管理者、橋田室長、田中参事、御田主査

案件	吹田市における自治体DXの推進について
担当及び関連部局	行政経営部(情報政策室)、会計室
令和4年度(2022年度)第3回政策調整会議において示された、「吹田市における自治体DX推進」について、現在の状況と今後の予定を示すもの。	
【所管部の考え方】 ペーパーレス、手続の電子化の取組として、令和5年度(2023年度)末までに実施予定の手続について、確実に導入されるよう注力していく。また、現時点で実施しないと判断している手続についても、電子化に向けて継続的に取組を進めていく。なお、令和6年度(2024年度)末までに、集中的にWeb施設予約システム対象施設を追加する予定である。 施設予約システムのキャッシュレス機能追加については、令和6年4月の導入に向けて、運用ルールの変更等、整備を進める予定である。 SA環境への二要素認証の導入は、DXの進展に伴い、増加する情報の安全性を確保するため、現在のID・パスワード認証に加え、生体認証を実装するものであり、令和6年4月からの運用開始を予定している。 地方公共団体のアナログ規制の点検・見直しについては、令和5年度から、デジタル化の妨げとなっている条例等の見直し等を行う。取組にあたっては、国の動向を注視しながら、進めていくものとする。 財務務会計システムの構築業務については、電子請求サービスとの連携、電子決裁機能の拡大及び旅費管理機能の追加し、令和6年度中に運用を開始する予定である。	
【質疑概要】 (1)ペーパーレス、手続の電子化について(資料2) 質問:各部で実施状況にばらつきがあるが、達成率が低い所管の取組状況は。 回答:下水道部では、令和5年度に電子化を予定していた項目のスケジュールを前倒しにして、令和4年度末までに完了する見込みである。 指示:現在、電子化対象外の手続についても、財務規則等の改正を視野に入れた検討を進めること。また、対面で行う必要のある手続についても、部分的な電子化の可能性も踏まえ検討すること。	

(2)施設予約システムのキャッシュレス機能追加について(資料3)

質問： 市民プールの使用申請を電子化できない理由は。

回答： 市民プールは、事前申込制ではなく、来場された際に使用を許可し、券売機で入場券を発券しているためである。

意見： 券売機による販売の必要性について検討してもらいたい。また、市民プールの入場券販売に限らず、現金の取扱いを極力減らし、キャッシュレス決済化を進めてもらいたい。

(3)SA環境の二要素認証の導入について(資料4)

意見： 今回導入の目的は、情報セキュリティの観点からであるが、生体認証については、児童会館や児童センターの来館者や留守家庭育成室の児童等の出入り、職員の出退勤管理等、様々な場面での活用を検討してもらいたい。

意見： 生体認証の登録作業の業務負担も考慮しながら方法を検討してもらいたい。

(4)地方公共団体のアナログ規制の点検・見直しについて(資料5)

意見： 地方公共団体のアナログ規制の点検・見直しの趣旨は、実地調査や現場確認を一律廃止するのではなく、形骸化しているものを見直すことである。工事等の検査では、現地でしか確認できないこともあるため、精査してもらいたい。

(5)財務会計システム構築業務について(資料6)

意見： 各システムとの連携については、今後、運用していく中で整理してもらいたい。

指示： 新しいシステムを導入する際は、予測していなかった課題が発生する可能性も念頭において、スケジュールを設定し、各取組を進めていくこと。

【結果】

会議で出た指示、意見を踏まえて取組を進めること。